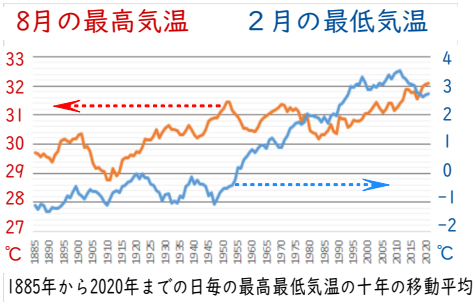




# 石炭火力廃止は待ったなし



我が家の庭では春の花、躑躅が満開。金木犀は二度咲いて、更に三度目に向けて蕾が膨らんでいる。秋無しで夏から冬になったかと思つたら暑くなつたり。気候の変化が激しいですね。それは巷で云われている地球温暖化？そこで気象庁のデータを調べました。八月の最高気温と二月の最低気温が左のグラフです。

## 世界を見ると

温暖化の為でしょうか、異常な現象が世界

各地で起きています。この夏、ドイツなどでは川の氾濫。デンマークでも異常な豪雨。一方、南アフリカやマダガスカルでは三年続きの大干ばつ。

## 石炭火力廃止に舵を

炭酸ガス排出削減の為、国際的には石炭火力廃止に動いています。日本も「二〇三〇年

には電力分野で脱炭素化を目指す」と国際公約。しかし、自公政権は国内で新たに大規模石炭火力発電所九基の建設を計画。二〇三〇年になつても動かし続けるの？

これでは、世界の動きに逆行するのではありませんか？

技術力を注ぐべきは自然エネルギー、再生可能エネルギーでは？あなたはどお思われますか？



## 霞 橋

横浜市南区三春台と西区霞ヶ丘の間  
二〇二一年七月

南区三春台から西区霞ヶ丘はつながった高台だった。一九一三年(大正二年)に市電を通す切り通しが作られた。その時、煉瓦で造られたのが初代の霞橋。下を市電だけが通るアーチ橋であった。

関東大震災で壊れたが一九二八年(昭和二年)に二代目霞橋が下を人、車、市電併用で造られた。

一九六九年(昭和四四年)まで、下を市電が通っていた。

橋の上、霞ヶ丘側にある説明版によると...

「この辺りは霞耕地と呼ばれ大正期には別荘等が建てられていたが、大震災の被害がひどかった市中心部からの避難地として住宅地となった」そうだ。

同名の橋が新山下運河に架かっていて日曜ジジ通信四五七号に掲載した。

